



～性に関する指導を実施しました（報告）～

学級活動の時間に下記の内容で性に関する指導を実施しました。

性に関する指導の実施にあたり、事前アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。今回の学習のねらいとして、以下の2点を設定しました。

①性器は、新しい命をつくるための大事な体の一部であることを知る。

②性器は汚れやすいため、清潔保持の意識をもち、清潔にするための方法を身に付ける。

授業の中で、児童が自身の体を清潔にするためにがんばること【ぴかぴかだいさくせん】を考えましたので、御家庭でも話題に取り上げていただき、継続的な取組ができるよう御支援いただきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

養護教諭 吉原 冴也香

学習のめあて からだをきれいにしよう。

1 ぬれたカット綿で自分の顔や手を拭き、体の汚れを確認しました。

カット綿に汚れが付いたことに驚きの声が上がりました。汚れが付かない（見えない）児童もいましたが、目に見えない汚れもあること、汚れには個人差があることを伝えました。

※個人差＝手洗いをするタイミングやさっきまで遊んでいた遊びの内容、汚れのあるものに触っていたり体のどの部分が汚れやすいかは、一人一人違うこと。

2 体の汚れについて考えました。

(1) 体の汚れやすいところを、事前アンケートの結果を踏まえ発表する。

児童の予想 手、足、おしり、おまた、おちんちん、頭、わきの下、足のうら等

※体の名称をばい菌マークをつけながらおさえるとともに、「おまた」や「おちんちん」のことを【性器】と呼ぶことを教えました。

(2) 汚れの原因はなにか、ワークシートに記入し発表する。

児童の予想 土、ほこり、汗、ばい菌、虫、あぶら、おしっこ、うんち等

(3) (1)と(2)から、体の部位の汚れについて3分類に分ける。

そとからのよごれ 外側からの汚れがつきやすい部分→手、足、頭

なかからのよごれ 内側からの汚れがつきやすい部分→わきの下、足のうら

よごれやすいやくめ 汚れやすい役目の部分→性器



3 汚れやすい性器は、新しい命をつくるための大事な体の一部であることを説明しました。

〈体の性が男〉



〈体の性が女〉



男女の性器について説明する前に、性の多様性にふれ、性のあり方は、「心の性」「体の性」「好きになる性」「表現する性」が一人一人異なること、今回は、「持って生まれた体の性」について説明することを伝えました。

将来、赤ちゃんのもとや赤ちゃんのたまごをつくるようになることを図で説明しました。

4 性器を清潔にする方法を確認し説明をしました。

(1) 汚れたままにするとどうなるか。

体をきれいにしないと、単に「汚い」や「くさくなる」だけでなく、「体に悪く病気にもなりやすいこと」を伝えました。特に、汚れやすい役目を担っている性器は、便尿の細菌が付きやすいため、病気になりやすいことを確認しました。

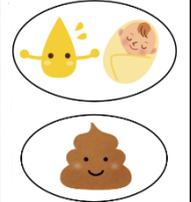
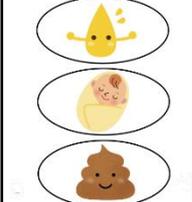
(2) 汚れをとるためには、どのような方法があるか。

児童の予想手を洗う、うがいをする、消毒をする、お風呂に入る、トイレできれいにふく等
排泄後によく拭き取ること、入浴時によく洗うこと、毎日清潔な下着に着替えることを教えました。



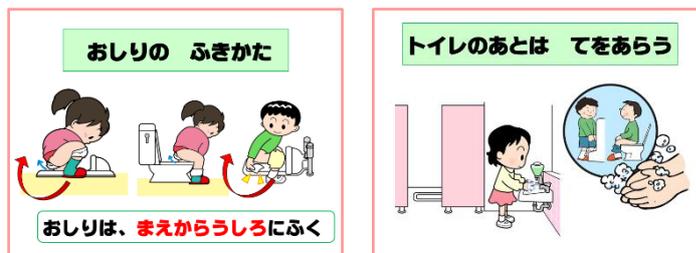
5 性器を守る排泄後の正しい拭き方について説明をしました。

男の子の体と女の子の体では、性器が違うので、トイレ後の拭き方も違うことを伝えました。

おとこ 	おんな 	〈おしっこ〉 男の子 性器についたおしっこを便器にふってからズボンにしまう。 女の子 トイレットペーパーで性器をきれいに拭く。 〈うんち〉 トイレットペーパーで便がつかなくなるまで拭く。
--	--	---

事前アンケートの結果 前から後ろにふく (27人) 後ろから前にふく (6人) 決まっていない (3人)

うんちをした後は、前から後ろに向かって拭く方法が性器を守る正しい拭き方です。後ろから前に向かって拭いてしまうと、うんちやうんちの細菌が尿器や性器に付着してしまい、汚れてしまうからです。



6 自分に合った体をきれいにする方法を決め、発表をしてもらいました。

児童の感想

- お風呂に入って病気にならないようにする。
- トイレに行った後、ちゃんと手を洗う。
- これからうんちをした時は、前から後ろに拭く。
- これからも前から後ろに拭く。
- 手洗い・うがい・消毒を頑張ってる。
- わきの下をちゃんと洗う。等

トイレの始末の際、「前から後ろに拭く。」と、ぴかぴかだいさくせんに記入している児童がたくさんいました。